

守谷市若手教員育成研修会の実施

守谷市教育委員会

1 目的

- (1) 市内小中学校において、提案授業による研修会を実施し、参観した若手教員と提案授業者とで研究協議を行うことにより、若手教員の授業力の向上を図る。
- (2) 若手教員と教育長との懇談等により、教職員としての意欲・資質能力の向上を図る。
- (3) 上記(1)の研究協議において、提案授業者が教材や授業構成の工夫点等について助言することで、ミドルリーダーの育成を図る。

2 対象

- (1) 初任者・2年次・3年次
- (2) 上記(1)以外で、学校長が参加を認めた者

3 平成26年度の研修の実践

	期 日	会 場	指導者	内 容 等
第1回	5月 7日(水)	守谷市役所	教育長	講話及び懇談
第2回	9月24日(水)	松前台小学校	大堀 玲子 先生	外国語活動の参観等
第3回	9月29日(月)	御所ヶ丘小学校	豊嶋なつみ 先生	体育の授業参観等
第4回	10月8日(水)	けやき台中学校	横尾 香織 先生	保健体育の授業参観等
第5回	2月12日(木)	中央公民館	杉本 真 校長	講話等
第6回	2月23日(月)	中央図書館	町田 香 校長	講話等

《資料1 研修の様子(守谷市ホームページ「指導室ニュース」より抜粋)》



【第1回 教育長講話】



【第5回 杉本校長の講話】



【第6回 町田校長の講話】



【第2回 外国語活動の授業】



【第3回 小学校体育科の授業】



【第4回 中学校体育科の授業】

4 研修の成果

- 教育長・校長講話及び中堅教員による学級経営，教科経営，児童生徒との人間関係づくり等の視点の提示→ 社会人としてはもちろん教師としての自覚を深め，教育に携わるものとしての責務を理解することができた。
- 校種や教科を越えた授業参観→ 自分自身のこれまでの授業を振り返り，改善へつなげていくために何が必要か考える機会となった。また，小中学校間の指導の系統性についても意識を向けるようになった。
- 研修を通じての守谷市若手教員間のネットワーク構築。

5 今後の課題

- 講話や授業参観で見識を深める（インプット型の）研修だけでなく，若手教員も授業公開をする（アウトプット型の）研修の検討。
- 道徳・特別活動，総合的な学習の時間等，領域の指導の充実を図るための研修の在り方。
- 教員経験の浅い講師に向けた教科指導や生徒指導等の研修。

《資料2 若手教員の感想より》

- 教育長講話では，教員としてのやりがいや大切なことを教えていただきました。自分が1年間どのように過ごしていくか，という心構えをもつことができました。町田校長先生の講話では，教員としての自覚をもち，子どもとどのように向き合っていけばよいか教えていただきました。杉本校長先生からは，すぐに活用できる教育技術や教師という仕事の素晴らしさを教えていただきました。町田先生の「やる気・意欲・発想・アイデアがあれば，何でもできる」という言葉は，私にとってとても勇気のでる言葉でした。これからも挑戦し続けていきます。

1年間を振り返ると，若手教員育成研修会は，教育長はじめ校長先生方のお話を直に聞けることや同じ守谷市の小学校・中学校で働く先生方と一緒に学べる貴重な経験を積めるものでした。このような機会を与えてくださり，本当に感謝しています。（初任者）

- 豊嶋先生の授業参観では，授業後の先生のお話が心に響きました。…先生自身が幸せであること，先生自身が様々な経験を通じて人間らしく生きること。それが，子どもにとって魅力的な先生なのだと感じました。

研修を通じて出会うことのできた先生方は人間的に魅力的で，私もそうなりたいと強く思いました。ちょうど悩んでいた時期にこのような研修の機会があり，研修の度に励まされ，2年目を乗り越えることができました。来年でこのような機会が終了してしまうことが大変残念ですが，これからもたくさん学んで行きたいと思います。（2年次）

- 先生方のお話に共通していたことは，「子どもたちへの愛情」だった。初任者だった頃の私に「愛情」がなかったかと言われると，そうではない。その「愛情」が，教育としての「情熱」にうまく変換されていなかった。いや，していなかった…。

今年度の研修を振り返って私は「子どものために」という思いを一層強くすることができた。そのために私がすべきことは，「思いを形に換えること」，ただ一つである。

これからの自分の教員人生を考える上で，本研修会で学んだことは本当に重要な分岐点となった。3年間様々な研修の機会を与えてくださったことに感謝いたします。（3年次）